

JaLC update (メンバーミーティング)

Japan Link Center (JaLC)

2024年1月25日

- 2023年度のアップデート全体
- 研究データ:メタデータの共通項目へのJaLCの令和5年度対応について

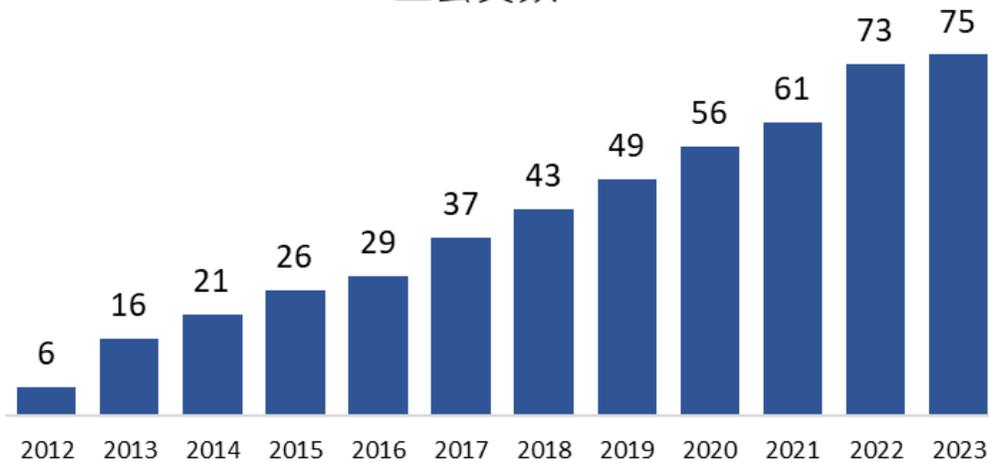
会員数、DOI登録数の状況

JaLC会員数の推移

正会員：75機関、準会員：2,968機関（2023年12月末時点）

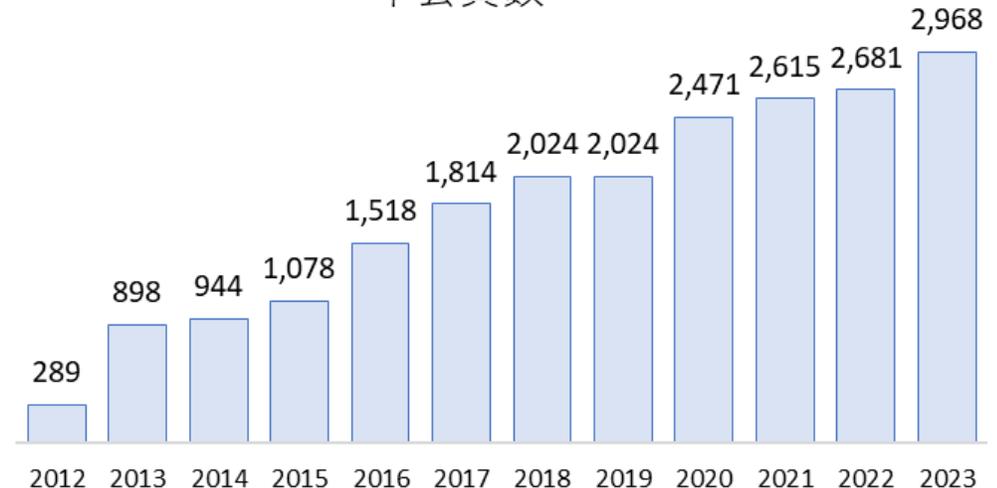
2023年度に 2機関 が新規に正会員登録
 ・一般社団法人 関東連合産科婦人科学会
 ・公益財団法人 日本眼科学会

正会員数



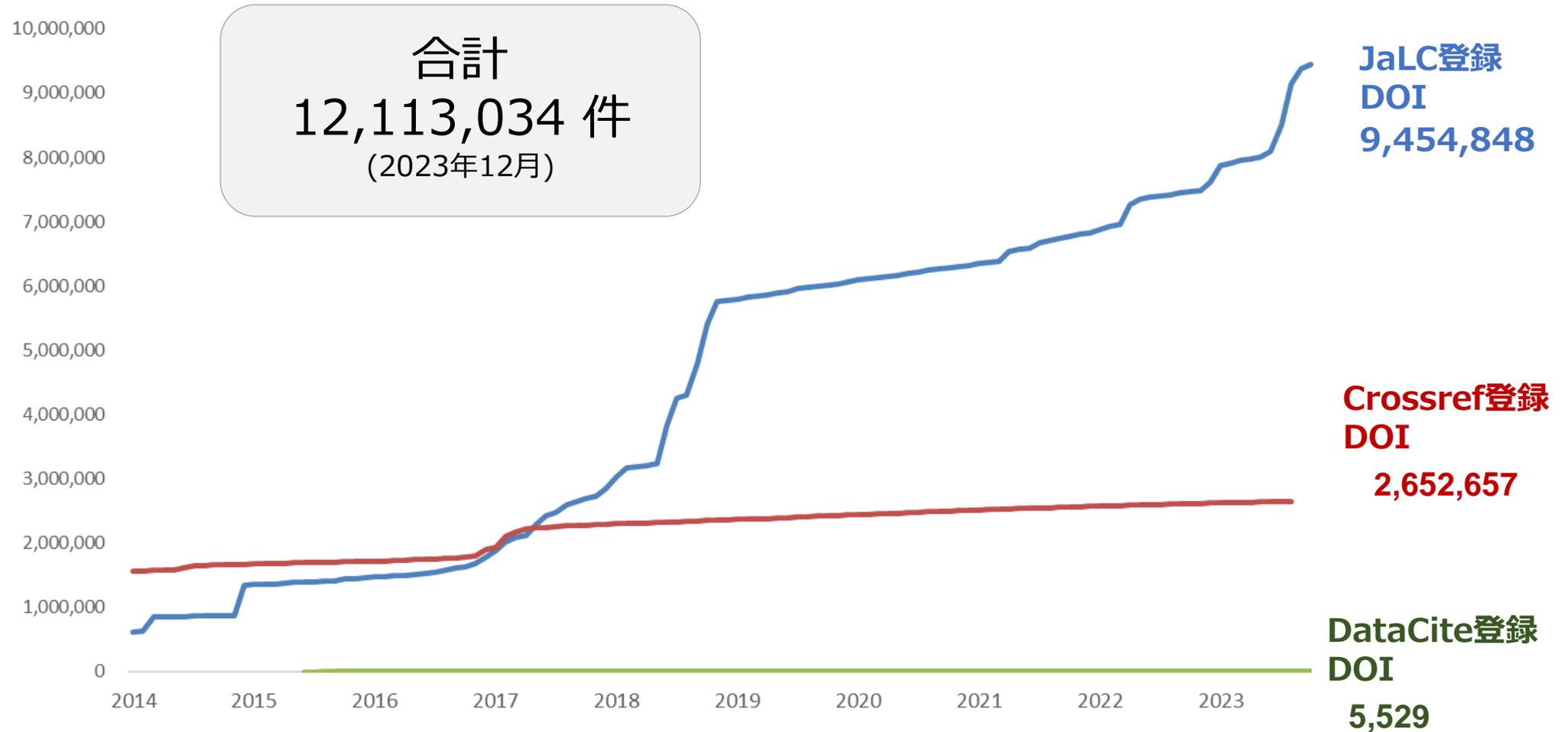
正会員：
 直接JaLCのDOI登録サービスを利用している
 国内の研究機関、学会、出版社等

準会員数



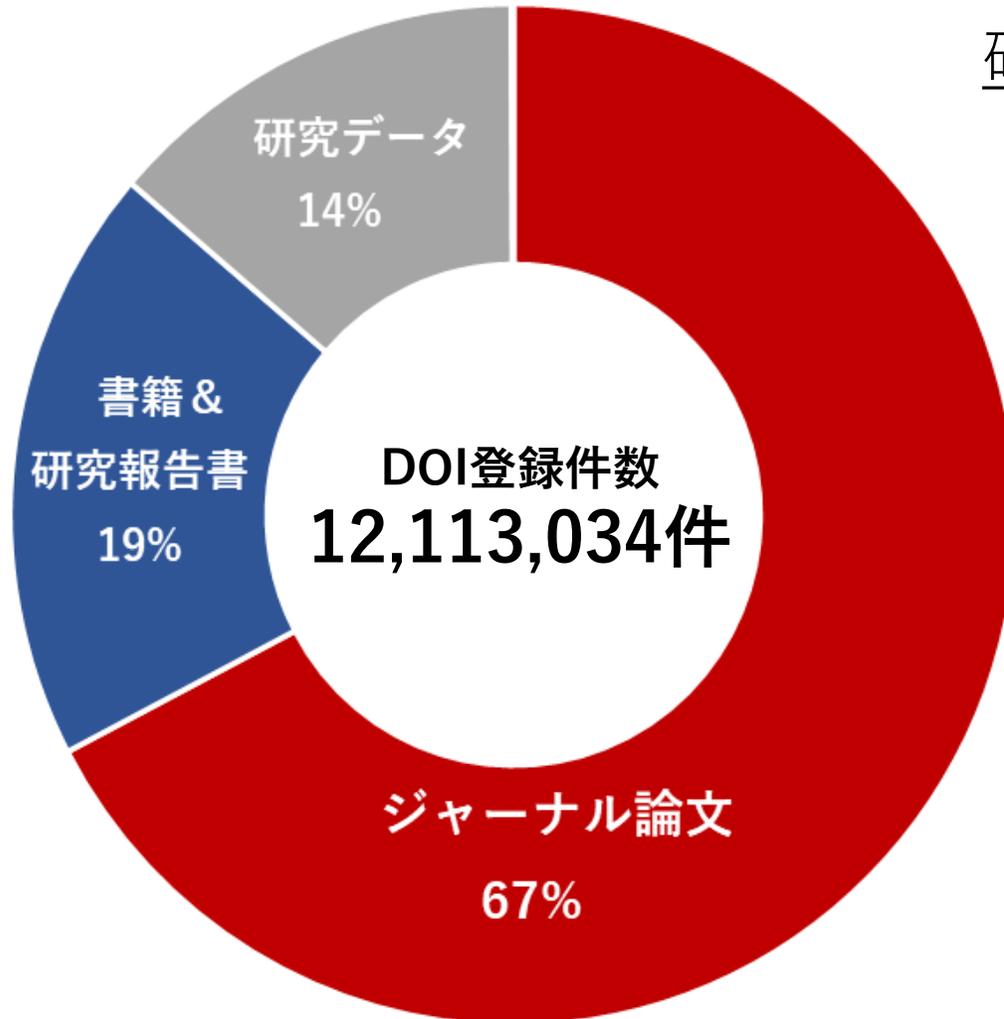
準会員：
 正会員を通してDOIを登録している国内機関

JaLCにおけるDOI累計登録件数推移



コンテンツ別DOI登録状況

研究データの登録件数が昨年から4.5倍増



2022年11月
37万件
(全体の4%)

2023年12月
165万件
(全体の14%)

核融合科学研究所から
120万件の研究データ登録

- ジャーナル論文 816万件
- 書籍 & 研究報告書 230万件
- 研究データ 165万件
- その他 8,803件

(2023年12月末時点)

- ORCID ID** : 研究者を対象とした国際的な永続識別子。
- ORCID連携（手動）** : JaLCコンテンツ検索より自身の研究実績を選択し、ワンクリックでORCIDに業績登録する機能。
- ORCID連携（自動）** : JaLC DOIが付与されたコンテンツを、研究者の業績情報としてORCIDに自動登録する機能。

（累計）	2020年度	2021年度	2022年度	2023年12月
JaLCの機能を利用してORCIDに手動連携された業績数	9,184	15,769	18,667	21,325
JaLCの機能を利用してORCIDに自動連携された業績数	6	21	28	47
JaLC ORCID自動連携機能利用者数	39	59	131	326

コンテンツのメタデータにORCID IDを登録することで、自動連携可能になります。
 研究者の業績管理負担軽減のため、
JaLCメタデータについて、ORCID IDの登録を推奨します。

2023年度の取組みについて

XSDスキーマにより登録用XMLを事前に検証できるようになりました

- JaLCではXMLファイルを使用してDOI登録を行うことができます。
XSDスキーマは、その登録用XMLスキーマを定義するものです。
- XSDスキーマを使用すると、JaLCに登録しようとするXMLファイルについて、登録前に簡易的な検証を行うことができます。



XSDスキーマ

JaLC登録スキーマを定義したXSDスキーマを示します。

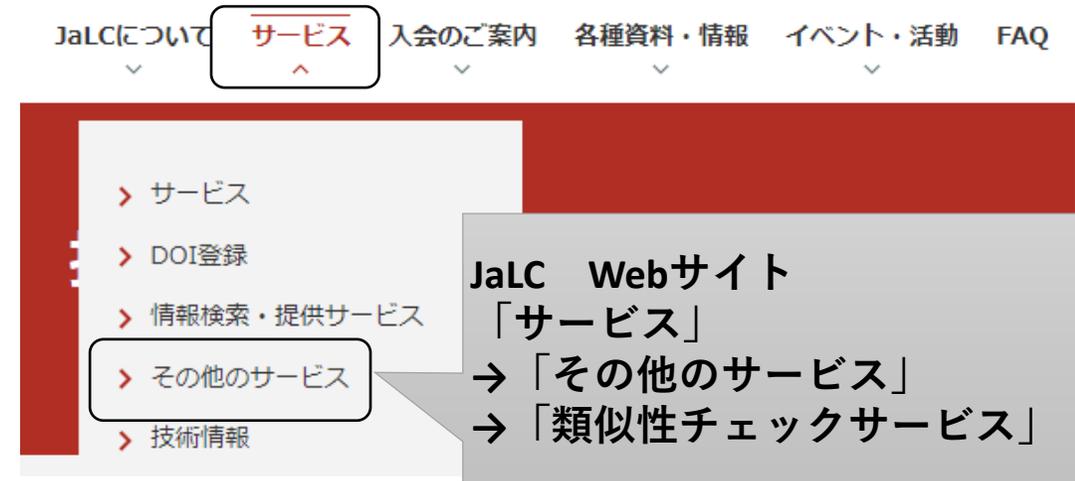
 [XSDスキーマ \(2023年9月更新\) \(ZIP: 1MB以下\)](#)

制約事項等もございますので、ご利用いただく前に  [説明資料\(PDF: 1MB以下\)](#) をご一読ください。

類似性チェックサービス開始

意図せぬ剽窃の可能性を未然に防ぎ、論文等のより高い信頼性と品質を確保

- JaLC DOIを登録する出版前コンテンツに対して剽窃チェックを行うためのオンラインツール（iThenticate）をJaLC会員向けに提供。
- サービスの対象は、JaLC DOIを登録済み・登録予定のコンテンツに限定。
- 利用には、本サービスの利用規約に同意の上、利用申請書の提出、iThenticateのアカウント登録が必要。
- JaLC年会費に加えて、類似性チェックサービス利用料金が発生します。



JaLC説明会の開催（オンライン）

DOIやJaLCの基本的な仕組みやサービスについて分かりやすく解説

- DOIやJaLCの基本的な事項を知りたい方向けに、初の試みとしてJaLC説明会を実施（12/20）。
- デモンストレーションや、事務局との直接の質疑応答による易しい解説。
- たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

2023

3-4. DOI登録の粒度について



DOIを登録するコンテンツの粒度にルールはありますか？
うちの機関のケースはどうしたらいいですか？

DOIを登録する粒度に決まりはありません。

例)

	10.1000/123 DOI		10.1000/123 DOI
	1つの研究データ/DOI		複数の研究データ/DOI

そのDOIを使用するであろうコミュニティ(研究者など)が、引用・参照しやすい単位にて会員さまで決めていただいていた構いません。
ただし、DOIの永続性を管理できる範囲にてお願いいたします。



説明会資料・動画はWEBサイトにて公開しています。

https://japanlinkcenter.org/top/event/event_past.html#s027

■ OpenCitations

オープンな引用情報の提供に向けて活動しているOpenCitationsと連携。

今年度からその引用インデックスであるOpenCitations IndexにJaLCデータが取り込まれることになりました。

■ CHORUS

資金提供が行われた研究成果とオープンアクセス状況をダッシュボードで表示するサービスCHORUSと連携。JaLCに登録されたDOIの研究成果がデータに加わりました。

■ Unpaywall

オープンアクセスの論文情報を収集・提供するUnpaywallサービスとの契約を進め、JaLCのDOIが登録された論文がUnpaywallのデータに加わり、サービス提供される予定です。

新ストラテジーのロードマップ案策定

「ジャパンリンクセンター ストラテジー 2023-2027」の実現に向けたロードマップ

- 「JaLCストラテジー2023-2027」を2023年3月に公開。
- 各アクションを実現するための具体的な実施事項をとりまとめ。
- 年度内にJaLC Webサイトにて公開予定。

ジャパンリンクセンターストラテジー	ストラテジーを遂行するためのアクション
1. 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等に対応した DOI の登録、利活用環境を整備します。	1-1. 日本の学術リソースへのDOI登録インフラ環境を整備します。 1-2. 会員への柔軟なDOI登録支援を行います。
2. 学術において必要な様々なリソースへのDOIの登録を促進させます。	2-1. 研究者が利用する様々なリソースへのDOI登録のため、メタデータ登録情報の整備を行います。 2-2. ユーザーに対し多様なリソースへのDOI登録の利用促進を行います。
3. DOI やメタデータのオープンな利活用を推進します。	3-1. 他のIDサービスとの連携を行い、学術インフラサービスや学術情報サービスとの連携を強化します。 3-2. JaLCにおけるメタデータ検索機能の充実、DOIの利用状況の提供に取り組みます。 3-3. ユーザーの意見を収集し、研究環境の変化に応じたサービス開発を目指します。
4. オープンサイエンスの推進に向けて、研究データの利活用の促進に取り組みます。	4-1. 研究データのDOIに対して、国内外の組織と連携し、研究データ利活用を促進させます。 4-2. 研究データ利活用協議会(RDUF)との協力関係をより強化します。
5. DOIを活用する学術コミュニティの活性化に貢献します。	5-1. DOI活用促進のために、イベント等を通じて、DOIの理解を深めると共に、ユーザー同士のコミュニケーションを促進させます。
6. コミュニティのニーズに応える、透明性の高い持続的な組織運営を目指します。	6-1. DOIが長期的に運用されていくために、DOI登録を担う日本の学術インフラ機関としてのあり方を検討し、拡充します。

本日のパネルディスカッション
「JaLCの概要」にて紹介します

第10回 JaLC 「対話・共創の場」
(本日のプログラム)

趣旨と今年度のテーマ

「対話・共創の場」の開催趣旨

「対話・共創の場」は、国内のDOIの普及やJaLCの運営について関係者の皆様に議論いただくこと、さらにコミュニティを醸成すること等を目的として開催しています。

テーマ「JaLCの今昔について」

第10回記念として、JaLC設立当時を知る方をお招きし、講演・パネルディスカッションを行います。

Slidoを通じて参加者の皆さんと対話します。



Slidoへの接続をお願いいたします。

<https://www.slido.com/jp>

イベントコード # 1677131

本日のプログラム

14:00-14:05	開会挨拶 武田委員長
14:05-14:25	JaLC update (メンバーミーティング) ジャパンリンクセンター事務局
14:25-14:55	DOI登録活用事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ JAMSTECにおけるデータへのDOI付与の取り組み 海洋研究開発機構 福田 和代 ・ 京都大学におけるDOIの活用 京都大学附属図書館 安原 通代 ・ 医書.jpの雑誌・書籍データ 医書ジェーピー株式会社 大野 充章
14:55-15:05	休憩
15:05-15:35	講演「JaLC以前、JaLC以降、そして、これから」大学改革支援・学位授与機構 土屋 俊
15:35-16:45	パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> ・ 「JaLCの概要」 武田 英明 NII 教授/JaLC運営委員会委員長 ・ パネルディスカッションおよび意見交換会 コーディネーター：武田 英明 パネリスト： <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学改革支援・学位授与機構 土屋 俊 ・ 国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター 谷藤 幹子 ・ 科学技術振興機構 水野 充
16:45-16:50	まとめ 武田委員長